

◎ 真心ある政治「こころのよりどころ通信」

大野市議会議員 林よりかず活動報告



林 順和 Hayashi Yorikazu 昭和52年(1977)生まれ 47歳
中央大学卒、大野市議会議員2期目

大野市議会議員の林順和です。政治は常に国民、市民のものでなければなりません。私は日ごろから現場を大切に、話を聞いて「誇れるまち・大野」実現のため、市民・事業者と行政との橋渡しを心掛けています。

令和6年9月議会では、時代が変化する中、行政は限られた財源をどこに予算配分するのか。財政改革として市民にだけ負担を強いることや、行政の独りよがりですることや、必要な予算が削減されること、民に必要ない削減が求められました。改革の先にある「大野市の姿」をしっかりと示すべきだと。

引き続きのご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

結 ステーション駐車場 … 有料化や区画見直し

【現況と方針】 まちなか観光に訪れる観光客や買い物の市民が利用しているが、屋内型こどもの遊び場「おおの天空パークOSORA」が開館することで利用者増加が見込まれる。目的外利用を抑制し、施設利用者や観光客の駐車場としての利便性確保を目的に、駐車場の有料化を進める。
(担当は観光交流課)

- Q. 有料化はいつから ➡ 令和7年4月から。7年度は市が直営で徴収
- Q. どこが対象なの ➡ 水のがっこう駐車場を含む南側と北側全体
- Q. いくらかかるの ➡ 検討中だが、入場から一定時間を定額とする初期料金、単位時間当たりの料金、一日当たりの上限料金の組み合わせにより設定
- Q. 安全対策は ➡ OSORAが設置される南側にあるバス駐車場を北側に移動するとともに、南側の駐車場内は一方通行とし、横断歩道を設置
- Q. 区画見直しとは ➡ 南側はバス駐車場部分を普通車に変更して区画数を113台に増やす。北側はバス駐車場を3台分、普通車を41台確保



<https://hayashi-yorikazu.jp/>

「こころのよりどころ通信」バックナンバーや最新の市政情報は、右記のQRコードを読み取ると、簡単にアクセスすることができます。



暑 かった夏 2024

議員以外の活動も積極的に

「議会以外は何しているの」とよく聞かれます。政務活動として省庁の政策について研修を受けたり、所属させていただいている各種団体の活動に参加したりしています。

また、各団体の会議や少人数での会合にお誘いいただき、意見交換しています。

「大野市の将来」を一緒に考えていきましょう。

大野市身体障害者連合会と市が主催して5年ぶりに「福祉スポーツ大会」を開催。奥越明成高校の生徒がサポートしてくれました。(7月7日結とぴあ)



大野市軟式野球連盟が主催する学童・一般の各種大会や、中学校部活動の地域移行に関する会議などに参加しました。



大野地区遺族会の一員として、福井県戦没者追悼式に参列しました。(8月24日サンドーム福井)

編集後記

市が作成した中期財政見通し(案)が市民の不安をおおるものであってはなりません。対策の一つとして地方債借入れ期間の延長を予定していますが、利払いが増え、将来世代にツケを回すだけであり、慎重な対応が必要です。ただ、大野市の財政状況が厳しいのは事実です。だからこそ、令和5年度に業務を委託実施した事業が187件、そのうち決算額が1千万円以上のもので29事業あった事実を示して、政策目的を明確にした上で予算配分を見直すよう求めました。

本気で見直せば、文化ホールと防音機能を備えた練習室の設置や、こどもたちが利用する際の練習場・照明設備の料金を免除できると思っています。市民の方も「自分事」として税金の使い方に関心を。

発行元 林よりかず後援会事務所 【電話・FAX】0779-65-0276 大野市春日二丁目5-13



「おおの天空パーク OSORA」^{おそら}とこどもの居場所づくり

遊 び場運営 … 開館時間、休館日、予約・入場方法

【現況と方針】令和7年1月のオープンを目指し、まちなか交流センターを改修中。指定管理者は株式会社ジャクエツが担う。開館時間は午前9時30分から午後5時30分まで、月曜日と年末年始を休館日とする。3年生以下は保護者同伴。市内小学生にQRコード付きパスポートを配布するなどスムーズな入場を促す。年内には土日祝日の予約方法などを周知する。
(担当は教育委員会こども支援課)

(質問) OSORAの収入・支出の見込額はどのぐらいか。

(教育委員会事務局長答弁) 遊戯場等の利用料は小学生までのこどもが500円、保護者など同伴者が300円でいずれも市民は無料とする。利用料は指定管理者の収入とし、市外からの来場者による遊戯場等の利用料334万8千円など総額358万8千円(①)を、支出は人件費1404万円、光熱水費900万円など総額2722万2千円(②)を見込む。①と②の差額を指定管理料として支払うが、2年目以降は1年目の実績をもとに指定管理者と協議する。

林の視点

これまでのまちなか交流センターは年間管理費が約600万円(使用料収入は約90万円)だったが、今後は年間2300万円余りを支払う施設になります。より一層の経費削減や子育て世代に満足度の高い施設運営を求めるとともに、中心市街地(商店街等)へ回遊する仕掛けづくりを部局連携して進めるよう求めました。

(質問) 小学生のこどもの居場所とOSORA活用は。

(教育委員会事務局長答弁) 今後の放課後のこどもの居場所については、児童が校外に移動せず安全に過ごすことができる場所として学校の活用を検討している。改修工事に合わせて、富田小学校と有終南小学校は余裕教室の確保など学校と協議している。その他の小学校も十分検討する。

林の視点

校舎の活用など、こどもの居場所づくりの充実は一期目から求めてきました。例えば有終南小学校は、市道こぶし通りを横断して南部児童センターへ行く必要があり、保護者から不安の声が多くありました。児童センター本来の機能である自由来館も定員超過で制限を受けています。なお、OSORAが開館しても「校区内が原則」であることから、児童や保護者に対して内覧会などを通じて周知徹底を求めました。

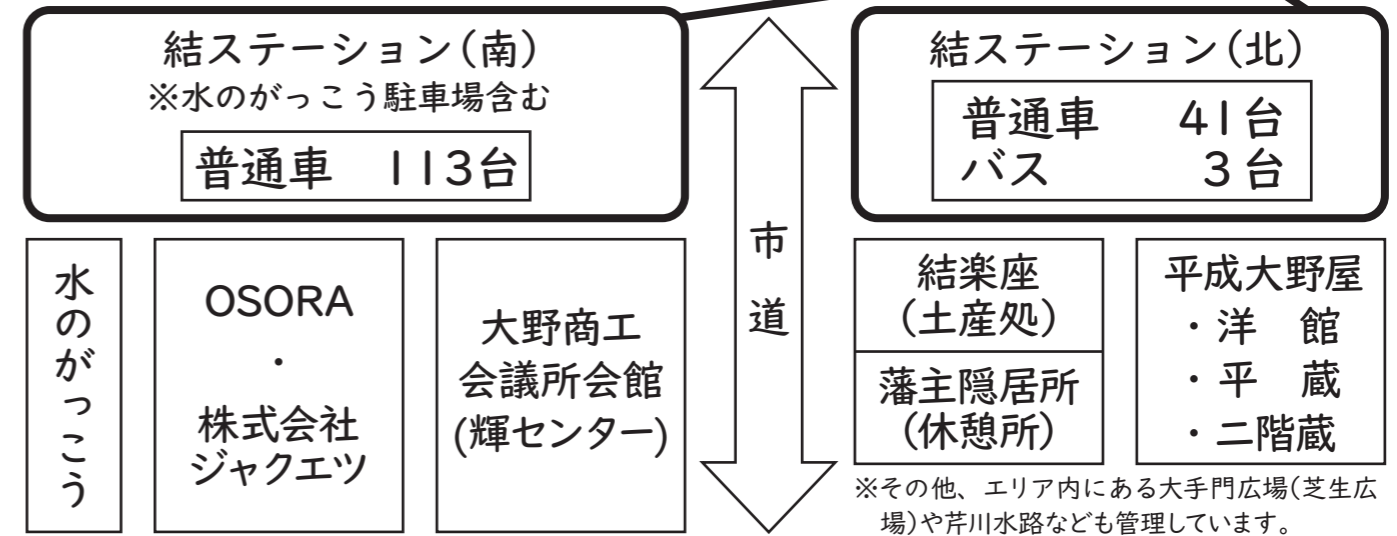
OSORAは天候にかかわらずこどもたちが思いきり遊べる施設であり、長期休業中のカリキュラムへの組み入れや放課後児童クラブの交流活動の会場とするなど充実を図る。

結ステーションのイベント利用も再検討が必要となっています(冬花火、おおの城まつりなど)



結ステーションの状況(予定) 令和7年4月～

有料化エリア



(令和6年度時点の管理状況・今後の論点)

※水のがっこうは市直営(駐車場がなくなる中、施設自体のあり方、管理費の削減を求めています)
※結ステーション駐車場、結楽座、平成大野屋、藩主隠居所等は(一財)越前おおの観光ビューローが指定管理(OSORA指定管理者との連携、輝センターの役割なども含めた管理体制の構築を求めています)

財 政改革 … 公共施設再編、予算配分の見直し

【現況と方針】令和12年度にかけて基金残高が大幅に減る見通し(案)を示したことに對して市長は「令和6年度当初予算(213億8千万円)は大変な危機感を持って数字を揃えた。そのうち地方債の借り入れは34億円。大野市の標準財政規模は約100億円、経常収支比率は95.1%と厳しい中、財政支出が大きいときに備えてきた」と答弁した。
(担当は財政経営課)

(質問) 物件費の縮減や借地購入の加速は。

(行政経営部長答弁) 借地を購入して土地の賃借を整理することは、一時的な財政負担はあるが、将来的に財政負担を軽減する一つの手法である。譲渡を検討する施設の中には借地となっているものもあり、パークホテル九頭竜や九頭竜スキー場は土地を購入した上で施設を譲渡する方向で進めている。

財政負担の縮減と合わせて事業の最適化を進めていく必要があり、人口減少が進む中、市民サービス継続のため担い手不足の対応として業務委託による事業の最適化は行政が進むべき方向と考える。

林の視点

令和12年度末の基金(貯金)残高が約15億円と、令和5年度末の約70億円から激減する見通し(案)だったことから、そうならないための財政改革が必要です。

事業委託や施設管理に要する経費(物件費)が増え続けています。将来世代への負担を軽減するため、市が委託してまで実施しなければならないのか、第三者評価を入れた全庁的な見直し検討を求めました。

また、昨年度に積み立てた公共施設等総合管理基金(残高7.7億円)はまず、借地購入へ活用すべきだと提案しました。